

北海道札幌平岸高等学校の取組

1. 研究のねらい

札幌市電子図書館のコンテンツとなったデジタル絵本（平成 25 年度制作）の読み聞かせを西岡小学校で行うほか、さらにデジタル絵本や写真集などのコンテンツを制作し、電子図書館より出版し、電子コンテンツを使った読み聞かせ活動を行っていく。

また、札幌らしい特色ある学校教育キャラクターを使った道徳アニメーションの続編「ゆっぼろ・ちつきゅん・おっほんの気持ちの良い図書館」を制作し、学校図書館利用のマナーを学ぶ教材を制作し、デジタルコンテンツとして札幌市電子図書館に提供していく。

2. 取組内容

(1) 札幌市電子図書館のデジタル絵本の制作と読み聞かせ活動

① 札幌市電子図書館でのデジタル絵本の出版

昨年 4 月の中央図書館で、電子図書館内サービス開始時に生徒が授業で制作したデジタル絵本 5 冊をコンテンツとして採用してもらい、10 月のネットでの利用開始後にさらに 13 冊のデジタル絵本をリリースすることができた。どのデジタル絵本も貸出ランキングの上位となり、制作した生徒たちも自分たちが制作した絵本が実際に利用されていることに自信をもったようである。

② 西岡小学校、東山小学校でのデジタル絵本の読み聞かせ

6 月に西岡小学校の 1 年生にデジタル絵本の読み聞かせを行い、9 月には東山小学校の 1 年生に、12 月には再び西岡小学校の 1 年生にデジタル絵本の読み聞かせを行った。12 月の読み聞かせでは、制作した 3 年生たちが電子図書館とオンラインで接続しながらの読み聞かせを行った。小学生からの反応があるので、制作した生徒たちも満足いく読み聞かせ会となった。



(2) 札幌らしい特色ある学校教育キャラクター教材アニメの制作とユネスコ未来遺産運動の活動

① アニメーション教材「気持ちの良い図書館」の制作

平成 25 年度に制作した豊かな心を育むアニメーション教材の続編「ゆっぼろ・ちつきゅん・おっほんの気持ちの良い図書館」を札幌市教育委員会の依頼で 2 年生の情報メディアデザインの選択生徒達が制作した。このアニメーション教材は、図書館の係活動を通して、図書館利用者にどのように気持ち良く図書館を利用してもらえるかを子供たちに考えてもら



う内容となっている。このアニメーション教材は、市立学校ネットワークで配信されるが、札幌市電子図書館のコンテンツとしてもリリースする予定である。

②ユネスコ未来遺産運動「私のまちのたからもの」の活動

日本ユネスコ協会連盟の第5回私のまちのたからものコンテストにおいて、スライドショー作品「ニシンのまちに受け継がれてきたもの」がグランプリの日本ユネスコ協会連盟賞を受賞した。

題材は、小樽祝津のニシン番屋で行われた食育イベントであった。取材した写真をまとめ、電子書籍の写真集「私のまちのたからもの 小樽 祝津 週末食育番屋」を編集し、札幌市電子図書館よりリリースした。

この活動は、ユネスコスクールのESD優良実践事例に採択された。



3. 成果と課題

(1) 成果

札幌市電子図書館では、書籍以外にも、絵と文字だけの絵本から、動画、ナレーション付きのデジタル絵本まで様々なコンテンツを出版することができる。電子図書館のコンテンツはまだまだ不足しているので、札幌の児童生徒向けのデジタル絵本を家庭の保護者が読み聞かせのために借りたりすることも多いようである。

今後も電子図書館向けのデジタル絵本の制作を進めていくが、来年度リニューアルオープンする北海道博物館のデジタル絵本の制作依頼も受けたので取り組んでいきたい。

また、今年度、さっぽろ雪まつりにおいて札幌らしい学校教育キャラクターを使って、「おっほんの子どもたちへの思いやり～ユネスコ寺子屋運動に参加しよう～（雪像）」を制作し、併せて、雪まつり期間中に募金活動を行った。

次年度は、この寺子屋プロジェクトを題材にしたデジタル絵本を制作して、小学校での読み聞かせを行っていきたい。



(2) 課題

札幌ユネスコ協会の依頼で、地下歩行空間において小樽祝津の漁場建築などの写真パネルを展示した。その際、来場者より電子書籍ではなく、紙の書籍を購入したいと要望があった。多くの市民の人たちに自分たちの作品を見てもらうためには、紙の書籍作品のリリースも必要である。今後も、様々なコンテンツの制作や、小学校などでの読み聞かせを通じて、多くの子供たちが本に親しんだり、読書活動につなげてもらったりできるよう、デジタル絵本の制作を続けていきたい。